

# 階上町 地震ハザードマップ

## ～揺れやすさマップ～

### 揺れやすさマップとは

「揺れやすさマップ」とは、青森県内で想定される太平洋側海溝型地震（マグニチュード8.2）が発生した場合に、地域の地盤の状況と、そこで起こりうる地震の両面から地域の揺れやすさを震度として評価し、50mメッシュで表現したものです。なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地盤の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。このマップの作成方法は、平成17年3月に内閣府が策定した「地震防災マップ作成技術資料」に基づいています。

この地震ハザードマップは、階上町耐震改修促進計画に基づき、建築物の地震に対する安全性の向上に関する啓発及び知識の普及を目的に作成したものです。

### わか家の防災メモ

避難所を確認しておきましょう

わか家の避難場所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

### 災害用伝言ダイヤル171 災害発生時に被災地の方と連絡・安否確認

家族間や知人間などの、安否の確認連絡に活用できます。ご利用にあたっての事前契約等は、一切不要です。

**録音方法** 171 → 1 → (X)X(X)X → X-X → X(X)X(X) → 伝言を入れる (1メッセージあたり30秒以内)

**再生方法** 171 → 2 → (X)X(X)X → X-X → X(X)X(X) → 伝言を聞く

※ 利用可能な端末はNTTの一般電話、公衆電話、携帯電話です。  
 ※ 録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っている人すべてが聞くことができます。  
 ※ 発信番号(任意の数字4桁)により、他人に聞かれない伝言など特定の相手の方への伝言録音・再生もできます。

### 非常用持出品

- 非常用持出品は、すぐ取り出せる場所にまとめて保管しておきましょう。
- 家族構成など必要に応じて準備しましょう。乳幼児やお年寄りなどで特に必要なものがあればつけ加えておきましょう。
- 非常用持出品は定期的に点検をし、保存状態や使用期限などをチェックして、必要に応じて新しいものに交換しましょう。

#### 持出品(例)

一次持ち出し品は大きな地震が発生して避難する際、最初に持ち出すべきものです。

<b>貴重品</b> 現金(10円)と公衆電話利用に便利)、預金通帳、印鑑、免許証、保険証、権利証書など	<b>タオル・下着・靴下など</b> カンパンや缶詰など火を通さなくても食べられるもの。缶切り、検抜きも忘れずに。	<b>非常食</b> ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、持病のある方は常備薬など	<b>救急医薬品・常備薬</b> ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、持病のある方は常備薬など
<b>懐中電燈</b> できれば1人1つ。予備電池も用意。	<b>携帯ラジオ</b> AM、FM両方が聴けるものを。予備電池も用意。	<b>その他</b> ティッシュ、軍手、ロープ、マッチ、洗面用具、生理用品など	

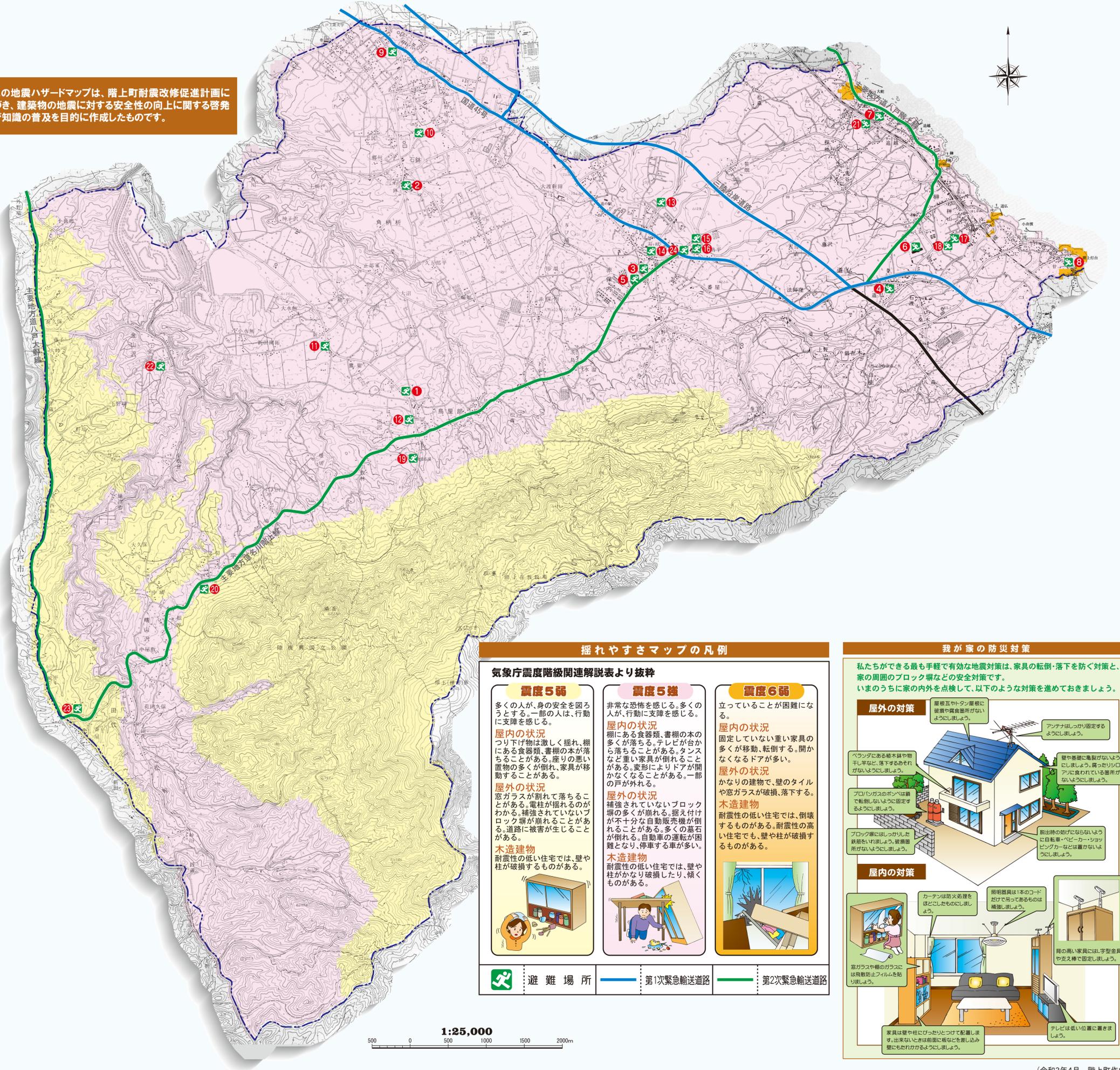
### 地震発生! その時どうする?

地震の時、まず自身の安全確保が第一です。居る場所によって対応が異なりますが、身の回りの物で頭や身体を守りパニックにならず、冷静に行動できるよう日頃から対応を覚えてください。

<b>①まず、自分を守る</b> 揺れが続いている場合はテーブル、机などの下で安全を確保しましょう。	<b>②すばやく火の始末</b> 揺れが収まってから落ち着いて火の始末をしましょう。	<b>③出口の確保を</b> 建物がゆがんでドアが開かなくならないように開け放しましょう。
<b>④みんなが協力しあって応急救護</b> けが人が出た時はお互いに協力し合って応急救護をしましょう。	<b>⑤正しい情報をつかむ</b> 町の広報、ラジオやテレビの情報に注意しましょう。	<b>⑥冷静に避難</b> 地震は1分過ぎればまず安心。家庭などで話し合ったことを思い出しましょう。

**ブレーカーを切る**  
漏電による火災の恐れがあるので、避難する際は必ずブレーカーを切りましょう。切れた電線には、絶対にさわらない。見つけた場合、すぐに東北電力へ連絡しましょう。

**忘れないで、連絡メモを!**  
避難時など自宅を離れる場合、玄関など見やすい場所に避難先や安否情報を書いたメモを貼りましょう。



### 揺れやすさマップの凡例

気象庁震度階級関連解説表より抜粋

<b>震度5弱</b> 多くの人が、身の安全を因らうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。 <b>屋内の状況</b> つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。 <b>屋外の状況</b> 窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。 <b>木造建物</b> 耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。	<b>震度5強</b> 非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。 <b>屋内の状況</b> 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。 <b>屋外の状況</b> 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停車する車が多い。 <b>木造建物</b> 耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	<b>震度6弱</b> 立っていることが困難になる。 <b>屋内の状況</b> 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。 <b>屋外の状況</b> かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 <b>木造建物</b> 耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。壁や柱が破損するものがある。
---	--	---

● 避難場所 ● 第1次緊急輸送道路 ● 第2次緊急輸送道路

### 我が家の防災対策

私たちができる最も手軽で有効な地震対策は、家具の転倒・落下を防ぐ対策と、家の周囲のブロック塀などの安全対策です。いまのうちに家の内外を点検して、以下のような対策を進めておきましょう。

**屋外の対策**

- 屋根瓦やトタン屋根に破損や腐食箇所がないよう点検しましょう。
- アンテナはしっかりと固定するようにしましょう。
- ベランダにある植木鉢や物干し竿など、落下するおそれがないよう点検しましょう。
- 壁や基礎に亀裂がないよう点検し、腐ったコンクリートやレンガを補修しましょう。
- プロパンガスのボンベは鎖で転倒しないように固定するようにしましょう。
- ブロック塀にしっかりと鉄筋をいれ、破損箇所がないよう点検しましょう。
- 脱出時の妨げにならないよう自転車・ベビーカー・ジョシオンバイクなどは置かないようにしましょう。

**屋内の対策**

- カーテンは防火処理をほどこしたものにしましょう。
- 照明器具は1本のコードだけで吊り下げたものは補強しましょう。
- 天井の高い家具には字型金具や交換棒を固定しましょう。
- 家具は壁や柱にしっかりとつけて配置します。出来ないときは前面に板などを差し込み壁にもたれかかるようにしましょう。
- 窓ガラスや鏡のガラスには飛散防止フィルムを貼ります。
- テレビは低い位置に置きましょう。